



ご自由にお持ち帰りください。

Vol.
63



〒731-0293 広島市安佐北区可部南二丁目1-1
TEL：082-815-5211（代表）
<http://www.asa-hosp.city.hiroshima.jp>

薬剤部主任部長就任のご挨拶

2019年4月より、薬剤部主任部長を拝命いたしました松本 俊治と申します。広島市民病院、舟入市民病院を経て、2018年より安佐市民病院に勤務いたしております。最近やっと安佐地区の地理も少しわかるようになりました。今後ともよろしくお願いいたします。



薬剤部主任部長
松本 俊治

安佐市民病院薬剤部が取り組んでおります、薬の調剤や病棟での服薬指導以外の薬剤師業務を一部ご紹介させていただきます。

薬剤師による入院前の使用薬剤確認

安佐市民病院では、入院支援センターで薬剤師が患者さんに面談させていただき、入院前に他院で処方された薬、市販の薬、健康食品などの使用状況を確認し、入院の目的により検査前や手術前にあらかじめ中止が必要な薬がないかチェックさせていただいております。例えば、血液をサラサラにする作用の薬やサプリメントは入院前から中止していただく場合があります。『お薬手帳』や飲んでいる薬の内容がわかるもの（お薬のしおりなど）を持参していただくと幸いです。『お薬手帳』に関するお願いです。病院ごとや薬局ごとに、別々の『お薬手帳』を作らないようにし、飲んでいるすべての薬を「1冊で」記録するようお願いいたします。また、薬を飲んで副作用が起きて変更になった、蕁麻疹が出たことがある、という経験はとても重要な情報です。副作用歴、アレルギー歴を『お薬手帳』に記入することで、同じ薬による副作用を防止できます。ぜひご活用ください。

外来化学療法センターでの抗がん剤治療支援

新たに抗がん剤治療を受けられる場合や抗がん剤のメニュー変更時には、薬剤師が投与スケジュールや予想される副作用とその対策をご説明させていただいております。また、日々の抗がん剤治療を受けられる患者さんの治療内容は、事前に腫瘍内科医師や看護師と毎朝、情報共有しています。薬剤師は血液検査が行われているかどうかを確認し、投与基準が守られ、抗がん剤治療が安全に受けられるよう支援を行っています。

今後も薬剤部一同、医師や看護師など多くの病院医療スタッフはもちろん、地域の保険薬局とも連携し、患者の皆様にも安全で有効な薬物療法を提供できるよう努力してまいります。



特集記事

- ★秋の小児の病気について
- ★B型・C型肝炎について

安佐市民病院の理念と基本方針

理 念

- ・愛と誠の精神をもって医療を提供します。
- ・地域の基幹病院として高度の医療・ケアを行います。

基本方針

1. 患者さまの立場を尊重し、理解と納得にもとづいた医療を行います。
2. 安全な医療と快適な療養環境の提供に努めます。
3. 地域と連携し、地域医療、救急医療、トータルケアの水準の向上に努めます。
4. 最新の医療にとりくみ、医療・医学の進歩に貢献します。
5. より良い医療サービス提供のため、健全な病院運営に努めます。



秋の小児の病気について

秋が深まってきますと喘鳴、呼吸困難を主訴とする患者さんが増えてきます。細気管支炎や気管支喘息です。と申しましても気管支喘息は秋に限らず通年の病気です。細気管支炎を来すRSウイルスは、迅速検査の普及により今では一般の方々もよく知るウイルスとなりました。RSウイルスによる感染症は、特に乳児期早期には細気管支炎、肺炎を来し、小さな子供達が精一杯の呼吸をしながら受診され、特効薬がない中で酸素投与と輸液で支持療法をしながら治療をしております。RSウイルスのピークが過ぎると、冬のインフルエンザが流行し始めるという教科書のグラフを覚えておりますが、最近では以前と異なり、春や夏にも見るようになりました。この理由はまだ明らかとなっております。

気管支喘息は、1歳前後ですと流行期の細気管支炎と紛らわしくなります。研修医のころから気管支喘息といえば、キサンチン製剤を副作用の懸念から血中濃度を測りながら使用し、またβ刺激薬の吸入で聴診所見の改善を確認していました。かつては重症例のみに使

用していたステロイド治療の使用法の進歩、ステロイド吸入薬やロイコトリエン受容体拮抗薬の開発に加えバイタルサインの一つとして酸素飽和度を見ながらの診察などにより、成人の診療に遅れはしまし

たが非常にコントロールが良くなりました。個人的な経験では軽い咳が続いていた患者さんが、ロイコトリエン受容体拮抗薬の内服を始めたとともに症状が落ち着いて感謝され、まるで私が名医であるかのように賞賛され、むずがゆい感覚になったのを覚えております。近年では、さらにコントロールが難しい患者さん向けに抗ヒトIgEモノクローナル抗体が開発され、年間に何度も入院されていた患者さんがほとんど入院しなくなったのを傍目で見えております。

良いお薬が開発され、本当に良い時代になってきております。これからも色々な治療が開発されもっと良い時代になることを祈念しております。



小児科主任部長
荒新 修



「Babyプラス」について



元号が「平成」から「令和」にかわる頃、日本産科婦人科学会が監修する「Babyプラス」というアプリの説明を聞きました。

「Babyプラス」って何???と思われる方も多いと思います。「Babyプラス」は日本産科婦人科学会が監修している妊婦さんのためのアプリです。妊娠初期から産後まで、妊婦さんにご家族の方をサポートする目的で作られており、学会からの定期的な情報も発信されるほか、妊娠中のからだの変化、食事のことや、妊娠中に行う検査の内容といった妊婦さん自身がほしい情報もあれば、妊娠・出産に伴う届け出のこと、もらえるお金の手続きの仕方など、妊婦さんだけでなく、ご家族の方にも欲しい情報が満載のアプリになっています。それだけでなく、「胎動カウンター」や「陣痛カウンター」といった便利ツールも入っていますし、妊娠中の胎児超音波検査の画像をアルバムの様に保存しておく、という機能も付いています。学会が監修しているアプリなので、使われた妊婦さんの声では、「信頼できる情報がたくさんでよかった」とか、「安心して使用できた」という

内容が多くあげられています。

以前は雑誌や本で情報収集していましたが、これからは、こういったアプリを利用した情報発信・収集が主流になっていくのかなと思います。

そのアプリの中で、「産院お知らせ機能」というのがあります。妊婦さんがかかりつけの病院を登録すると、その病院からのお知らせが届くという機能です。当院でもこの機能を活用して情報発信していくことにしました。健診の案内や、医師の休診日のお知らせだけではなく、母教育学級の案内などをお届けすることもできます。当院での分娩を希望される方に少しでも当院を知っていただき、よりよい妊娠生活から、分娩、育児へとつなげていくために、このアプリが少しでも助けになれば良いと思っています。



産婦人科部長
岡井 百合香



B型・C型肝炎について

消化器内科副部長 本田 洋二



B型肝炎について

B型肝炎は、B型肝炎ウイルス（HBV）に感染することによって発症します。感染ルートとしては、①HBVに感染した母親から子どもへの感染（母子感染）、②感染対策が不完全な時代の集団予防接種など、③HBV感染者との性的接触が挙げられます。

HBVは幼少期に感染すると、一生にわたって体内に感染しつづけます（HBVキャリア）。HBVに感染しても成人になるころまではめったに肝炎を発症しませんが、その後10～20%は肝炎を発症し、20～30年間かけて慢性肝炎、肝硬変へと進展し、肝臓がんの原因にもなります。HBVに感染し肝炎を発症した場合には、HBVの増殖を抑える治療を行い慢性肝炎、肝硬変への進展阻止や肝臓がん予防を行う必要があります。

また近年、HBVキャリアや感染の既往がある方が、免疫抑制治療や抗がん剤治療を受けることによって、重篤なB型肝炎を発症する危険性が明らかになっています（HBV再活性化）。これらの治療を受ける際には、HBVに感染していないか詳しく調べる必要があります。

C型肝炎について

C型慢性肝炎は、C型肝炎ウイルス（HCV）の持続感染により起こる肝臓の病気です。HCVに感染すると70%の方が持続感染者となり、長い年月をかけて慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんへと進行していきます。また、必ずしもこの順序で進行するとは限らず、慢性肝炎から肝臓がんを発症する可能性もある怖い病気です。（表1）

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、自覚症状がないまま病気が進んでいきます。このため、HCV感染がわかれば必ず精密検査をして、治療を検討していくことが必要です。

これまでわが国では、インターフェロンを基本にした治療が行われてきました。しかし効果が不十分で副作用（発熱、倦怠感、うつ等）も多く、長年新しい治療が望まれていました。現在では、直接作用型抗ウイルス薬（DAA）による治療が中心となり、95%以上の人で

HCVを体内からなくすることが可能となっています。しかもインターフェロンのような副作用が少なく、さまざまな合併症でインターフェロンが使えなかった方でも短期間で安全に治療ができるようになりました。（表2）

以上、簡単ではありますが肝炎ウイルスについてご説明させて頂きました。各ウイルスの性質や治療法は似て非なるものですが、重篤な病気の原因となる点では共通しています。是非、肝炎ウイルス検査を受けていただき、早期の治療に繋がっていただければと思います。

表1 C型慢性肝炎の自然経過

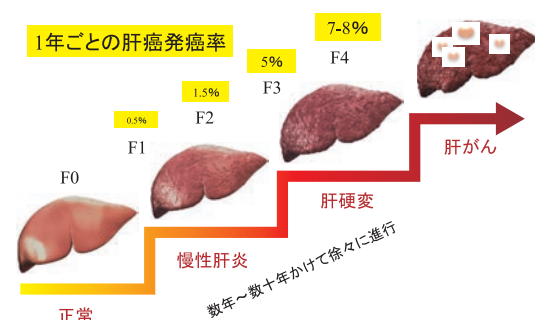
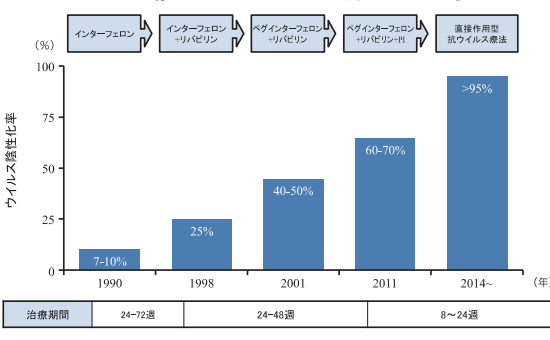


表2 C型慢性肝炎治療の進歩



「視能訓練士」という職業をご存知でしょうか？ 眼科・視能訓練士 森 和秀

みなさん、「視能訓練士」という職業をご存知でしょうか？

自分でいうのもなんですがあまり名前の知られていない職種なので、ほとんどの方は聞いたことがないだろうと思います。わかりやすく言い表すと「眼科で検査をしている人」です。これならイメージしやすいのではないのでしょうか？

眼科の検査というと、視力検査、視野検査などがわかりやすいと思いますが、そのほかにも眼科の中で行う検査はたくさんあり、屈折、斜視、眼底、電気生理、超音波、など多岐にわたります。それら眼科検査のスペシャリストが視能訓練士なのです。

その歴史は意外に古く、1920年代に世界最初の視能訓練士がイギリスで誕生しました。日本では、1971年に視機能矯正、検査をおこなう国家資格を持つ専門技術職として視能訓練士が正式に誕生し、乳幼児からご高齢の方までみなさんの目の健康を守るお手伝いをしています。

現在、当院眼科には視能訓練士2名が在籍しており、高度な医療を提供すべく日々努力しております。検査内容によってはお待ちせざる場合がありますので、眼科を受診される際は、お時間をいただくことをご了承ください。





外科主任部長
檜原 淳

第9回

ブラック・ジャック

手術中 セミナー を開催して



ブラック・ジャックは言わずと知れた手塚治虫が描いた天才外科医であり、ブラック・ジャックに憧れて外科医になった人も少なくないと思います（実は私もその一人です）。

この天才外科医の名を冠した高校生医療体験セミナー「ブラック・ジャック セミナー」を安佐市民病院では2011年から毎年開催しており、本年は8月24日に行いました。今回は定員30名のところ2倍を越える応募があり、参加者を抽選のうえ選ばせていただきました。

このセミナーは医師を目指す県内の高校生を対象に、外科手術手技を体験してもらうプログラムとなっており、以下の6つの構成となっています。

1. 自動縫合器体験

実際に手術で使用する自動縫合器（胃や腸を縫い合わせる器械）を使って、模型の胃と腸を縫い合わせる体験をします。

2. 内視鏡手術体験

これも実際に腹腔鏡手術で使われている鉗子（お腹に空けた小さな穴から手術操作をする器具）を両手に持って、トレーニングボックス内でモニターを見ながらツムツム人形をピラミッド状に綺麗に積み上げてもらいます。

3. 電気メス・超音波メス体験

こちらにも実際に手術で用いている電気メスと超音波メスを使って、切開操作を体験します。

4. 縫合・結紮体験

外科の基本技術である縫合（丸い針と糸を使って、皮膚の模型を縫い合わせる）と結紮（縫った糸を縛る）の方法を、外科医直伝で指導します。

5. 手術シミュレータ体験

手術シミュレータを使って、コンピュータ上で手術操作の疑似体験をします。

6. 手術室見学ツアー

普段はなかなか入ることのできない手術室の内部を見学します。

最後に向田副院長から参加者一人一人に修了証を手渡し、セミナーは終了しました。参加した高校生は皆さん生き生きとした表情で、楽しかったという感想を多くいただきました。今回の参加者の中から、将来、医療現場で活躍する人が一人でも多く出れば大変嬉しく思います。

安佐市民病院の建替えの近況報告（その3）

安佐市民病院整備室室長 亀井 賢吾

安佐市民病院の建替え事業は、新病院の主要建設工事がはじまり、工事段階へと進んでいます。去る6月15日（土曜日、大安）には、施工者による起工式が執り行われました。

当日は、あいにくの天候で、強い雨が降るなかでの挙行となりましたが、式には、広島市長、広島市議会議長、安佐医師会会長、地域住民団体の皆様など、200人を超える方々にご出席いただき、稀にみる盛大な式となりました。あいさつに立った広島市立病院機構の影本理事長は、「雨降って地固まる。広島市の北部地域、広島県北西部地域、さらには島根県南西部地域における高度・先進医療の拠点病院として、その期待に応えられるよう病院スタッフが丸となって努力していきたい」と

の決意を語りました。

新病院の建設工事は、今回着工した主要工事のほか、第二期、第三期と関連工事を発注することにしており、病院建物は2021年8月末の竣工を目標に工事を進めます。その後、外構工事等を行った後、新病院全体の工事が完了する予定です。

このように新病院の建設工事は長期間に及びます。その間、地域の皆様には、多大なご迷惑をおかけすることになります。工事は、安全最優先で進めてまいりますので、なにとぞご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

安佐市民病院の建替えの近況については、これからも随時、掲載させていただきます。

》 連携医療機関のご紹介

日頃より大変お世話になっている地域の先生方をご紹介します。

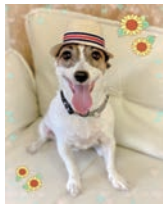
小 椿 クリニック



院長 加藤 芳朗 先生



外 観



愛犬 gaku

〒739-1521
広島市安佐北区白木町三田下小椿4275-1
TEL (082) 810-6700

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:30	○	○	○	△	○	△

2006年に地域で愛されるクリニックを目標に、地縁があるこの地に開業しました。

1983年東海大医学部卒、1991年広島大学医学部内科大学院修了です。広島大学病院、広島市民病院、中国労災病院、三次地区医療センターと病院医療を経験してきました。無医村の国保診療所で過疎・農村医療を3年間経験しました。

総合内科・循環器・高血圧の専門医ですが、地域の皆様と共通基盤を築くことやコミュニケーションを大切にしたい医療を心がけています。

労働衛生コンサルタント、人間ドック専門医として診断検査、特定健診、癌検診、企業健診、ストレスチェックに力を注いでおります。

当地域は高齢独居者も多く、当院には専従の訪問看護師がおり、癌、難病、障害の方の在宅医療も担っております。痒いところに手が届く、身近な医療を提供したいと思っております。

趣味は旅行、愛犬と戯れることです。毎日の引っぱりっこが私の役割ですが、明日の癒しとなっています。

安佐市民病院の医師、看護師、スタッフの皆様には、外来、検査、入院とご多忙と思いますが、いつも急患を快く受け入れて頂き、感謝の気持ちで一杯です。皆様とともに良質な医療、地域医療向上に貢献したいと思います。宜しくお願いします。

緑井脳神経外科



院長 吉岡 宏幸 先生



院 内

〒731-0103
広島市安佐南区緑井5丁目29-18-201
TEL(082)831-3230

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	△	○	○
午後 14:30~18:00	○	○	○	△	○	○

1992年に広島大学を卒業した後、広島大学脳神経外科学教室に入局し、島根県立中央病院、マツダ病院、広島大学病院、呉医療センターで勤務した後、2008年から4年間、安佐市民病院でお世話になりました。安佐市民病院を退職し、2012年5月に安佐南区緑井（JR緑井駅前）に開業して今年で8年目になりました。

当院は、ご存知の通り脳疾患を中心に診察をしており、脳卒中、認知症、頭痛などの診察、治療を行っておりますが、特に脳梗塞の2次予防としての生活習慣病の管理にも積極的に取り組んでおります。開業をして感じておりますことは、頭痛を主訴とする若い患者さんの中には、解離性脳動脈瘤・動脈解離が予想以上に多く見つかることです。勤務医のときには、神経所見がなく、頭部CTで異常なければ、頭痛は鎮痛剤で経過観察としていましたが、しつこい頭痛や突然の頭痛にはMRIでの診断が必要だと痛感しております。

安佐市民病院には、勤務中からお世話になった先生方が多く在籍しておられ、脳卒中や前述の解離性脳動脈瘤などの緊急での入院治療が必要な脳疾患のお受け入れに関してはもとより、その他の診療科の先生方にも些細なことも快く相談に乗って頂き、大変感謝しております。これからも、より近い距離で、患者さんの声に耳を傾けることを忘れず、地域医療にスタッフ一同 取り組んでいきたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。



アートギャラリーによせて

広島市立三入中学校 美術講師 福原 正明

安佐北区の中学校が安佐市民病院の「アートギャラリー」に美術作品を飾らせていただけるようになって、この秋で4年目を迎えようとしています。開設当時のことを、総務課の方とのやりとりや作品の写真や新聞記事などで振り返ってみました。

安佐市民病院から、「入院患者の心の安らぎや院内の美観になるようアートギャラリーをつくって地元の中学生の美術作品を飾りたい」という依頼が市の教育委員会を通して安佐北区中学校長会（当時の三入中学校長）にありました。地域で発表の機会をいただけるだけでなく、中学生の作品が人の役に立つかもしれないという企画に区の校長会は賛同し、すぐに美術科教員に話が来しました。

初年度は、10月から2か月交代で三入中、口田中、亀山中、可部中の4校でスタートしました。初回担当した三入中には、中国新聞がやって来て生徒が取材を受けたこともあります。2年目からは日浦中が、4年目からは清和中が加わり、定着してきました。作品の題材は、植物画、風景画、静物画、構想画、

名画の模写、絵手紙風しき紙、絵文字、色彩構成などの平面作品で、2か月に一度、月末の午後5時前に作品（最高16点）の展示替えをしています。展示中、入院や来院されている方や職員の方から「いつも楽しみにしています」「中学生なのにすごい」などと声をかけていただき、すごくやりがいを感じます。

展示は、業務の方がワイヤー、フック、ギャラリー表示などを本格的に取り付けてくださったり、教員がゆとりをもって準備できるよう総務の方が額縁を展示枚数の倍購入してくださるなど大変恵まれた環境の中で出品させていただいています（保護者の出品承諾書をもらっています）。

出品することになった生徒の喜びはいうまでもありませんが、治療やお見舞いで訪れた生徒の反響もすごく「先生、市民病院の作品見たよ」とうれしそうに教えてくれます。出品した生徒が取材の時に答えた「病気で大変な思いをしている患者さんが少しでも笑顔になればうれしい」のひと言が忘れられません。

この素晴らしい企画に参加することができ、教員も生徒も保護者も幸せです。これからも続けていけたらと思っています。よろしくお願いします。

患者の権利

広島市立安佐市民病院は、患者の権利に関する「リスボン宣言」を擁護し、患者の最善の利益のために安全で質の高い医療を目指します。

1. 良質の医療を受ける権利

良質で適切な医療を公平に受ける権利があります。

2. 情報を知る権利

ご自身の病状や治療等に関して十分な説明と情報を得る権利があります。

3. 自己決定の権利

ご自身の健康状態について十分な説明を受け、ご自身の自由な意思で検査や治療方法を選ぶ権利があります。

4. 選択の自由の権利

病院あるいは保健サービス施設等を自由に選択し、変更する権利があります。
セカンド・オピニオン（別の医師の意見を求める権利）を求める権利があります。

5. 健康教育を受ける権利

健康的なライフスタイルや、疾病の予防および早期発見等に関する情報を与えられた上で自己選択（インフォームド・チョイス）できる権利があります。

6. 個人情報・プライバシーが守られる権利

医療従事者が医療上知り得た個人情報は保護され、プライバシーが守られる権利があります。

7. 尊厳が守られる権利

個人として尊重され、尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な支援を受ける権利があります。

お願い

当院で安全で質の高い医療・看護が適切に受けられるためご協力をお願いします。

- ・ご自身の健康に関する情報をできる限り正確に伝え、医療従事者と共同して診療に参加してください。
- ・快適な療養環境の維持に協力をお願いします。
- ・医療安全の実践に協力をお願いします。
- ・病院の規則を守ってください。
- ・他の患者の療養に支障を与えないように配慮をお願いします。
- ・医療人の育成に協力をお願いします。
- ・現在考えられる安全な臨床医学の範囲を超える要求には応じられないことをご承知ください。